

0005

光市医師会報

平成12年11月号

No. 337



光市医師会

追悼



故 富惠 哲先生 御略歴

- | | |
|----------|------------------------------|
| 昭和3年6月1日 | 韓国慶尚南道に生まれる。 |
| 昭和26年3月 | 山口県立医学専門学校卒業。 |
| 昭和27年4月 | 萩市全真会病院外科勤務
東京日赤中央病院麻酔科勤務 |
| 昭和30年4月 | 埼玉県深谷赤十字病院外科勤務 |
| 昭和35年4月 | 山口医大で学位取得
光市松村医院勤務 |
| 昭和41年1月 | 富惠外科開業 |

弔

辞

光市医師会会長 前田昇一

本日、ここに故富恵哲先生のご葬儀に臨み、光市医師会を代表して謹んでご霊前に弔辞を捧げ、深く哀悼の意を表します。

生者必滅 会者定離は世のならいとは申しますが、先生の突然の悲報に接し、誠に痛恨の極みでございます。それにもまして、ご遺族の皆様方のお悲しみを拝察するに、お慰めする言葉も見当たりません。

先生は、昭和3年6月に韓国で生を受けられ、戦後の大変な時期に、昭和26年山口県立医学専門学校をご卒業になり、その後上京され、東京日赤中央病院や群馬大学第二外科に所属し、外科医としてさらに研鑽をされ山口に帰られました。昭和35年山口医大で医学博士を取得され、室積の松村医院に勤務し、昭和41年この地で富恵外科を開業されました。

今日まで永きに亘り、先生の卓越した技術と識見、そして慈愛に満ちたお人柄は、広く地域の人々から愛され慕われ、忘れられない赤髭先生であったと思います。医師会活動においては、光市医師会の理事、副会長、議長と要職を務められ、また県医師会では、豊かな学識を生かされ保険審査委員をはじめとし、多方面にわたり会員を指導され、お世話をよくなさいました。また、昭和45年以来、室積中学校の校医として、一貫して元気で逞しい子供の育成に献身的に努められました。ある時は、喘息児のスポーツへの参加を積極的かつ細心の注意を払われ、ご自身も喘息をかかえながら学内のマラソンで伴走し、子供達と共にスポーツを楽しみながら指導しておられました。

光市学校保健会においても、理事として豊富なご経験をもとに多大のご指導を頂きました。

また、徳山東ロータリークラブに所属され、その会長を務め、職業を通じ諸々の奉仕活動に努められました。

趣味に関しても、お仲間を集めて旅行に、マリンスポーツに、ラグビー、ゴルフなど、そして先生の軽妙なエッセイを編んだ「かばちたれ」にみられるように実に多彩で凡人の及ぶところではありません。

いま、幽明境を異にする先生の在りし日のお元氣なお姿やご遺徳を偲び、惜別の情は尽きませんが、残された私共は、先生の歩まれた道、地域住民に愛される地域の医療、保健や福祉のために邁進することをここにお誓い致します。

最後に、先生のやすらかなご冥福を心からお祈りし、お別れの言葉と致します。

合掌

平成12年11月1日

弔

辞

「富恵哲君の死を悼む」

元光市医師会会長 竹中昭二

元光市医師会会長 福本寿雄

富恵先生 つい先日麻薬免許更新の為
印鑑をとりに来られて談笑した君が忽然と
して幽明境を異にされた事は私にとって大
変な驚きであります。

今 君のご霊前で弔辞を捧げながら未だ
私達は あなたの死を信じかねる気持ちで
あります。

思い起せば40年来のお付き合いであ
り 家族的にも大変お世話になり 仕事上
も手術の麻酔を受け持ってもらって助けて
頂きました。

若い頃は同僚七名で 水曜会なる勉強会
を作り 月一回よく学びよく遊ぶ事を実践し
たのは 楽しい思い出です。

今残っているのは 光市医師会では福本
君と私だけになり 世の無常を痛感して居
ります。

君は実に勉強家で一直線な人でした。

又 医師会の球技大会や運動会を実行
に移し各医療機関の従業員の親睦を高めた
事は大きな貢献であります。

ゴルフもお互いに取り取り取られたり
楽しかったですね。君のドライバーには
参ってしまいました。あれだけは 仲間の
語り草となって残るでしょう。

旅行の思い出も沢山あり 話は尽きま
ん。本当に巨星が落ちた思いで 胸に大
きな穴があいた様です。

ご息の博君が帰られ これからぼつ
ぼつ 楽をしようと お互い話し合っていた
矢先にこの様なことになって残念で仕方
ありません。

今 永遠のお別れをするに当たり
長い間のあなたの恩義と友情に
深く、深く感謝し 謹んで ご冥福を
お祈り 致します。

平成12年11月1日

富恵君 去る10月29日、君の訃報を聞いた
時、全く信じられず仕事を手につかなか
った。今ここに追悼文を書こうと原稿用紙を前
にするのだが、何を書いたら良いのやら全く
頭に浮かばず、ただ虚脱感のような心境で
全く筆が運びません。昭和36年頃の同年輩
位であった上野達也君、亀田佐君、河村
俊男君、渡辺貞雄君を次々に亡くし、今又
ここに君の追悼文を書くことになろうとは。

君は朝鮮の釜山中学で、私より一級下で
あったが、あまりよく知らなかった。昭和36
年に私が東京から転居してから、君が松村
医院にいたことが判りとても心強く思った。
その上、釜山中学で一級上だった上野達也
先輩もおり、三人でよく酒を飲んで議論した
な。その後、私が昭和39年に、君が昭和41
年に開業してからは、ゴルフ、ソフトボールや
野球などに熱中し、暇をみつけては九州や
四国に遠征しては祝杯をあげていたよね。

また、水曜会なる勉強会を作って、月一回
症例報告や講師を呼んでの研究会をやった。
そしてその後、徳山市内の街に流れて行き、
亀田君を中心に夜更け迄よく飲み歩いたも
んだ。

昭和45年頃からは我々若輩が次々に理
事にさせられ、学校保健、住民保健、救急
医療などの医師会活動に振り回された。

君は少々そ真面目であり、融通がきかな
いところがあつた。私はその反対でいい加
減な男であつたので、よく意見が合わず口
論したよな。初めの頃は一級先輩であつた
ので、私の意見を何とか聞いてくれていたけ
れど、昭和47年に私が急性膵炎で君のとし
ころに入院してからは、君の方が主治医とい
うことで主導権を握り、議論もますます激しく
なつた。

君はあまりお世辞も言わず、冗談も少なく、
人々から少々敬遠されたところがあつた。
しかし富恵君自身冷たい人間ではなく、むしろ
心やさしい男であり、自分のことは犠牲に
しても人のお世話をよくする男であつた。
君は患者さんに対しては言うに及ばず、自
分の家族をととても大切にされていたね。君の
ご両親や多くの弟さん妹さんを精神的にも、
経済的にもよく面倒をみておられた。ことに、
ご両親やお二人の弟さんが亡くなる時
のお世話やそのご遺族達への面倒もよくみ
ておられたことには、頭が下がる思いである。

その反面、君は非常に趣味の多い人間であり、昔から魚釣りに熱中していたが、その内、クオリティー・オブ・ライフ号と命名したヨットを購入し、暇をみつければ航海に、魚釣りに夢中になっていたようだ。その上、体を鍛えると言って犬を連れて毎日のように散歩、ジョギングのみならず、ゴルフ、野球にも自分から率先して参加していた。二年前位には何を思いついたのか、学生時代にやっていたラグビーをやるのだと言い、ユニホームまで作って何度か走り回ったらしい。我々は無理をするな、と何度も止めたのだが、本人はなかなか言うことを聞こうとはしなかった。このように富恵君という男は、一つのこと熱中するタイプであり、又 少々 見栄っぱりのところがあった。その為この度もあまり体調が良くないのに 無理して同窓会に出席し、翌日ゴルフをやり途中で気分が悪くなった由である。多分、気管支喘息か、閉塞性の細気管支炎になりそれに伴い心肺機能不全を起こしたのではないかと想像している。今までも何度か喘息、細気管支炎や肺炎を起こして重篤状態になったことがあった。しかしすべてそれを克服して運よく治ったので、今度も大丈夫だろうと楽観していたのだろうか？

富恵君 君は72才という少々早すぎた年齢でこの世を去ってしまった。しかし君は、今までに言いたいことを言い、したいことを思う存分、実行したように思う。そして好きだった勉強もよくやり、愛する家族の面倒もよくみてきた。だから君の人生はすばらしい人生だったとおもうよ。ことに、長女の たまみ ちゃんの結婚式、そして長男の 博 君の結婚式と医師合格発表の時の君の嬉しそうな笑顔は、未だに眼底に残っており忘れ得ない。

富恵君 君は多くの人々に多くのことを教えてくれた。君に対して心より感謝したい。そして君のことは終生忘れ得ないだろう。だから君は心おきなく旅立って欲しい。私も近い内に行くから、又 ゆっくり酒でも飲んで大いに議論をしようではないか。では君の心からなる冥福をお祈りして追悼文としたい。

合掌

昭和43年10月広島芸南CCにて
昔の友達

(富恵、上野、福本
亀田 高島)



平成5年6月 小蜂にて
最近の友達

(竹中、中村、渡辺、丸岩
福本、富恵 奥様)



学術講演会

日時:平成12年11月28日(火)
午後7時15分から

場所:光商工会館(2階大ホール)

アレルギー性鼻炎の病態と治療
—最近の話題—

講師:島根医科大学 耳鼻咽喉科学
教授 川内秀之 先生

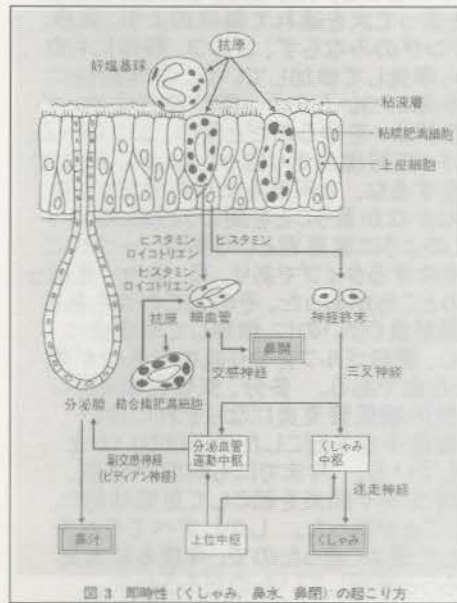


花粉症は、抗原がIgEと呼ばれる抗体と結びついて起こるアレルギー反応です。これは遺伝的素因が大きいですが、スギ花粉に曝露される機会が多いと、なり易い。

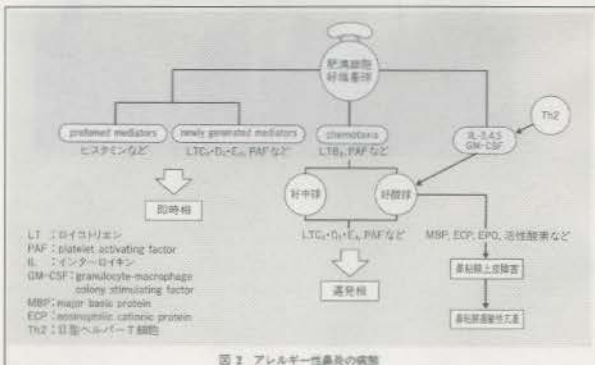
昭和30年代に大量に植えられたスギが、30~40年を経て、いっせいに花粉を飛ばすようになり、スギ花粉に曝露される機会が大幅に増えたこと。それに加えてディーゼルエンジンから排気される微粒子(DEP)が、アレルギーを起こりやすくしています。

さらに、寄生虫の消滅が花粉症増加の原因になっているという見方もあります。寄生虫がいると、体内で寄生虫に対してIgE抗体が大量に作られ、肥満細胞のFcεレセプターにびっしり付着します。この様な人がスギ花粉やダニに対する特異的な抗体を作ったとしても、肥満細胞にはもう空席がなく、結合できません。従って、アレルギー反応は起こらない仕組みです。

鼻アレルギーの病態についての新しい見方としては、免疫分子生物学のヘルパーT細胞のサイトカイン産生プロファイルより分類されたTh1あるいはTh2という位置づけである。鼻アレルギーは、鼻粘膜に起こるTh2 disease と考えてよい。



- * 新しい治療として、
- ① 減感作療法の経口薬
- ② 免疫調整薬
- などが期待されている。
- * 抗アレルギー薬の初期治療(季節前投与)は、その有用性が指摘されている。



光医歯会遠征ゴルフ

日時:平成12年11月11日～12日
場所:リージャス クレストGC(広島)

順位	名前	Gross	HC	Net
優勝	松村寿太郎	105	22	83
準優勝	前田昇一	97	11	86
3位	兼清照久	92	4	88
4位	諏訪高志	106	10	96
5位	藤村朴	106	9	97
6位	守田忠正	106	6	100
7位	藤本茂樹	122	22	100
8位	森本博士	110	4	106
9位	竹中昭二	133	21	112
	守本正春	93		
	久保田肇	133		

ベスグロ:兼清

「遠征ゴルフの顛末」

平成12年11月11日、5時に光商工会議所の駐車場に集合し、2台の車に分乗して出発した。広島のリージアルホテルに、当日は泊まる予定であったが、満室のためJALホテルと二手に分かれた。(値段は、半額で結構よかったらしい)

7時半より、幹事の森本先生(光歯科)の光井中学校の同級生の、大久保充さんが流川でしている館屋、「寿司常」にて宴会となった。貸切で、値段もすごく安くしてくれた。美味しい料理と、お酒やワインなど、たらふく飲んで5000円は、同級生ならではのサービスだった。光井中の名簿を出してきたのには、びっくりした。その時撮った写真を、その後数日して、次に行った光市のお客さんが当院に届けてくれて二度びっくりした。

大将は、そのまま店を閉めて、一緒に飲みに出掛けた。こんなので、いいのだろうか、また驚いた。広島の夜は、人が大勢いて賑やかだったが、かつての半分くらいらしい。ラウンジにてウイスキーを飲んだ、翌日のゴルフのことが気になったが、やっぱり飲みすぎたらしい。

朝8時半に、ホテルを出発した。当日は、道路も混んでなくスムーズに広島ICより、山陽自動車道～浜田道～中国縦貫道と進み高田ICよりおりた。ニュージーランド村を、横に見ながらゴルフ場に10時前に予定どおり着いた。

当日より参加の、前田先生、諏訪先生はもうパターの練習をしていた。慌てて着替えて、すぐスタートしたら、二日酔いとゴルフ場が難しいのとで最初から、OBが連発し、もう止めて帰りたい人が殆どだった。グリーンはチョウ速くて、アプローチのボールが谷に落ちたり、4パットとか、

悲惨な状況だった。

この様な、狭いコースは、曲がらずにただひたすらに刻んでいく、前田、兼清が有利と思われたが正にそのとおりになった。

幹事が二日酔いのためか、ハンディを間違えて、さらに誰も気づかなかったので、本当はHC12の松村先生が、優勝してしまつた。前田先生は、幻の優勝と、なりました。

そんな事とは、露知らず、楽しく元気に無事、帰ってきました。ああ楽しかった。

(文 兼清)



寿司常にて



表彰の時



リージャス・クレストGC(広島)

平成12年11月度定例理事会

日時:平成12年11月8日7時半～
場所:光市医師会事務局

I. <報告事項>

- ① 郡市学校保健担当理事協議会報告
(河村理事)
- ② 郡市医・医療廃棄物担当理事協議会報告
(吉村理事)
(清水担当補佐)
- ③ 第139回県医師会定例代議員会報告
(前田会長)
(松村副会長)
- ④ 周南地域医療対策協議会の報告
(光武理事)

⑤ その他

II. <承認事項>

- ① 会員入院見舞金・弔慰金について
(前田会長)
(藤原理事)
- ② 室積中学校校医変更推薦について
(河村理事)
- ③ 周南3市役員会議題について
(前田会長)
- ④ 特別研修会
イ、労基法に関する研修会
(前田会長)
ロ、ケアマネジャーとの集い
(河村理事)
- ⑤ 11月、月例会について
(山本理事)

特別研修会

労働基準法の改正点について
下松労働基準監督署
第一課長 上田竜夫 先生

日時:平成12年11月22日7時より
場所:商工会2階会議室



特別研修会

ケアマネジャーとの集い

日時:平成12年11月22日7時半より
場所:光商工会2階大ホール

光医師会、光市介護保険課、ケアマネジャーの人たちが集まり問題点について話し合った。



|||あとかき|||

ふたまわりも、先輩の富恵先生にゴルフのドラコンで負けた時は、情けなくて、悔しかった。今はいい思い出です。いつも、勉強しろよ、と声をかけて下さいました。

(文責 兼清)

発行所	光市医師会 TEL 0833-72-2234
発行者	前田昇一
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社